



にじいろ通信



4月にドキドキ、ワクワクしながら新しい学年を迎えたあの日から、早いもので1年になろうとしていますね。この1年間の学校生活の中で、楽しかったこと、辛かったこと等さまざまな経験を重ねてきたと思います。

小学校や中学校は、先生や友達など家族とは異なる人々と過ごして、学習だけではなく、コミュニケーションなどの社会性を学んでいく場所でもあります。『コミュニケーション』を広辞苑（第七版）で調べてみると、『社会生活を営む人々の間で行う、知覚・感情・思考の伝達』と説明されています。簡単に言うと『周囲の人々と関わり、思いや考えを伝え合うこと』という表現になるでしょうか。

思いや考えを伝え合うということは、相手の話を聞くことと、自分の思いや考えを伝えることです。

小・中学生の皆さんは相手の話を聞くことは上手にできているけれど、周りの人にどう思われるかを気にして自分の思いや考えを相手に伝えられないことが意外と多くあるのではないのでしょうか。

例えば…「Qさんにおはようって言ったのに、Qさんは返してくれなかった。わたし嫌われるようなことしたかな？」とモヤモヤしている場合。



①別の友達に「Qさんに無視された！」と話したら、私が無視されて怒っているとQさんの耳に入ってQさんが泣いてしまった。

②Qさんに直接伝えてみたら、「今日のテストの事を考えていて気付かなかった。ごめんね」と言われた。

①と②では、結果が大きく変わってきます。

直接伝えたり、確認したりすることは勇気がいることですが、自分の思いを正しく相手に伝えるためには大切です。

（書いた人 志摩 育子）

～お気軽にお問い合わせ・ご相談ください～

本宮市教育委員会（教育部幼保学校課） スクールソーシャルワーカー（志摩）

☎：0243-24-5445

Eメールアドレス： ssw@city.motomiya.lg.jp

